



基準日 2015年7月31日付

## 基準価額の推移



## 分配実績

第1期 (2014年12月18日)
0円

## 基準価額の騰落率

1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	設定来
0.98%	4.16%	20.17%	26.34%	41.77%

## 運用方針

### ①5～10年の中期的な視点で【変化】を捉えます

”変化し始めた企業”、”変化にチャレンジする企業”を中心に株価が割安と判断した企業に投資をします。

### ②50銘柄程度に厳選投資を行います

当ファンドでは50銘柄程度に厳選投資を行います。大型株から小型株までを投資対象とします。

一方で、50銘柄程度あれば分散効果も十分得られると考えています。

※ボトムアップ・アプローチを重視し、ベンチマークは設けません。

### ③収益を狙うタイミングと、リスクを回避するタイミングをコントロールします

市場の下落リスクなどに基づき、株式組入比率を上げて積極的に収益を狙うタイミングと、現金等の比率を上げてリスクを回避するタイミングをコントロールすることを目指します。

※株式への投資は、信託財産の50%超(100%～30%の範囲内)を基本とします。

## ファンドのデータ

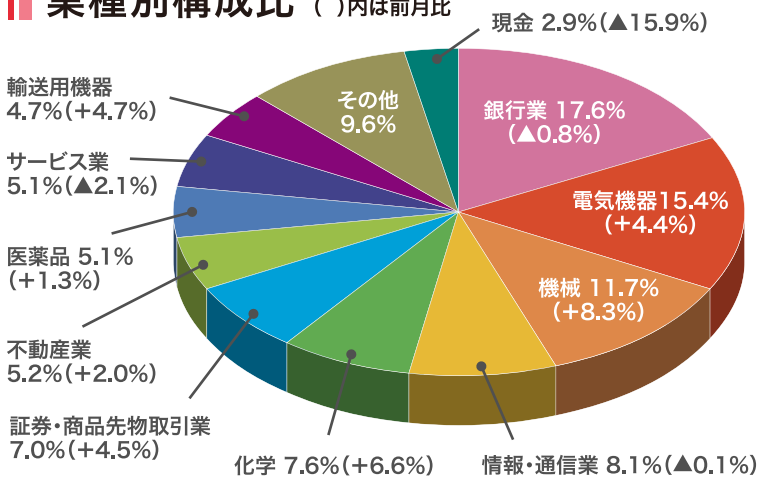
基準価額	14,177円
純資産総額	4,923百万円
受益権総口数	3,472百万口
顧客数	1,294人

## ポートフォリオの構成比 (マザーファンド)

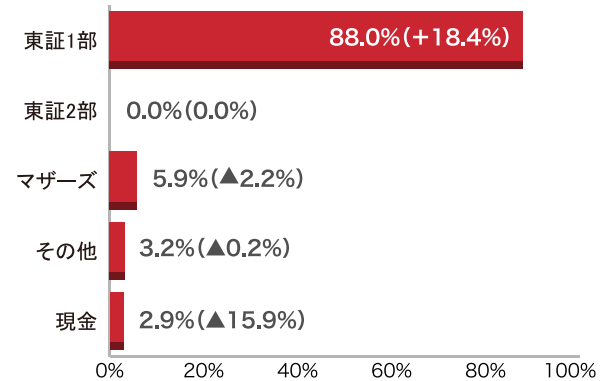
	当月末	前月末比
株式等	97.1%	+15.9%
現金等	2.9%	▲15.9%
構成銘柄	50社	▲2社

基準日 2015年7月31日付

## 業種別構成比 ( )内は前月比



## 市場別構成比 ( )内は前月比



- 比率は純資産総額を100%として計算しております。
- 比率は四捨五入の関係で合計が100%にならない場合があります。
- 業種については東証33分類に基づいて記載しております。

## 組入上位5銘柄

(2015年6月30日現在)

銘柄名	市場	業種	比率
三井住友フィナンシャルグループ	東証1部	銀行業	7.8%
任天堂	東証1部	その他製品	3.8%
三菱重工業	東証1部	機械	3.4%
日立製作所	東証1部	電気機器	3.3%
三菱電機	東証1部	電気機器	3.3%

- 組入上位5銘柄については、開示基準日その他の情報と異なります。
- 業種については東証33分類に基づいて記載しております。
- 比率は純資産総額を100%として計算しております。

## 組入上位5銘柄の紹介

(2015年6月30日現在)

銘柄名[コード]	概要
三井住友フィナンシャルグループ [8316]	3メガバンクの一角で、銀行業務を中心に、クレジットカード業務、リース業務、情報サービス業務、証券業務などのさまざまな金融サービスにかかわる事業を展開。経営方針は、最高の信頼を得られ世界に通じる金融グループを目指す。
任天堂 [7974]	花札の製造販売からスタート。多くの失敗と小さな成功を積み重ね、家庭用ゲーム市場を開拓。先進技術を取り入れて、常に新しさと楽しさを持った商品を創造し発展。時代に合わせ柔軟に自らを変身させ、企業価値の向上を目指す。
三菱重工業 [7011]	世界中の社会的課題をものづくりで解決することが使命。「エネルギー・環境」、「防衛・宇宙」、「交通・輸送」、「機械・設備システム」の4つのドメインを持つ。事業規模の拡大、資本効率および純利益水準の向上を目指す。
日立製作所 [6501]	2008年度の巨額赤字後、マネジメントの強力なリーダーシップで進められた構造改革で強靱な組織になり、収益体質も強化。「インフラとITをつないで、世の中を便利にする」をモットーに、グローバルでの展開を加速。重視する「ダイバーシティ」が、成長の大きな武器になる。
三菱電機 [6503]	1921年、三菱造船(現在の三菱重工業)神戸造船所の電機製作所を母体に設立。経営方針は、バランス経営の継続。電力システム、交通システム、ビルシステム、FAシステム、自動車機器、宇宙システム、パワーデバイス、空調システムなどを中心に持続的成長を目指す。

## II 市場概況

7月の株式市場は、ギリシャの緊縮案に対する国民投票が反対多数となりユーロ離脱懸念が浮上したことや、中国株の大幅下落などにより日経平均は急落、9日に月間最安値を付けました。その後は中国政府による株安対策や、ギリシャへの金融支援が条件付きで容認されたことなどから持ち直す展開となり、日経平均の月間リターンは1.73%の上昇となりました。

詳細は以下の通りです。月初は日銀短観が市場予想を上回ったことなどを好感し、上値を試す展開となりましたが、米雇用統計が市場予想を下回ったことや5日実施のギリシャ国民投票で緊縮案に反対が大勢となり、ユーロ離脱懸念が浮上したことで軟調な推移となりました。また9日にかけては中国株の大幅下落、商品市況の低迷などを受けてほぼ全面安の展開となり、9日の日経平均は月間最安値19115円(ザラ場)を付けました。中国政府が9日、悪質な空売りを調査すると発表するなど様々な株安対策を強化したことから中国株は反転、日本株も急速に値を戻しました。14日のユーロ圏首脳会議でギリシャへの金融支援を条件付きで容認することが大筋合意したことや、16日のギリシャ議会が財政改革法案を可決したことから投資家心理が改善、さらにドル円が124円台まで円安に振れたことも好感され、21日に日経平均は月間最高値20850円(ザラ場)を付けました。その後、米主要銘柄の4-6月期決算が市場予想を下回ったことや、中国景気の減速懸念から銅先物が09年来の安値を更新するなど世界景気の下振れ懸念が強まり、日経平均は2万円割れ寸前まで下落しました。その後は中国株の下げ止まりや、国内企業決算などを好感し反転基調となって月末を迎えました。

主な株式指数をリターン順に見ると、日経JASDAQ平均(+2.75%)、東証2部(+1.80%)、TOPIX(+1.79%)、日経平均株価(+1.73%)、JASDAQ指数(+1.63%)、東証マザーズ指数(▲2.39%)となりました。TOPIX規模別では、ミッド400(+3.07%)、スモール(+1.29%)、ラージ70(+1.23%)、コア30(+1.23%)となりました。TOPIX業種別株価指数のリターン上位3位は、空運業(+13.73%)、電気・ガス業(+12.18%)、食料品(+8.85%)でした。同下位3位は、鉄鋼(▲7.59%)、機械(▲6.72%)、電気機器(▲5.28%)でした。なお33業種のうち23業種がプラスリターンになっています。

## III 運用状況

### ◎7月末のポートフォリオ

株式等組入比率は97.1%(前月末比+15.9%)に引き上げており、逆にキャッシュ比率は2.9%(同▲15.9%)に引き下げています。市場別構成比率では、東証1部88.0%(同+18.4%)、東証マザーズ5.9%(同▲2.2%)などとなっています。業種別では、トップが銀行業17.6%(同▲0.8%)、次いで電気機器15.4%(同+4.4%)、機械11.7%(同+8.3%)としました。組入銘柄数は50銘柄(同▲2)となっています。

### ◎7月の主な投資行動

7月はギリシャ債務協議や中国株式市場と中国政府の株安対策に注目して、株式等組入比率をダイナミックにコントロールしました。ギリシャ国民投票が反対多数となりユーロ離脱懸念が高まったことや、中国株の急落などの相場下落リスクに対応するため10日にかけて株式組入比率を70%程度まで引き下げました。13日には、中国政府による株安対策が下値を支えたことなどを確認した上で株式組入比率を87%程度まで引き上げました。その後はギリシャ協議も大筋合意となるなど相場下落リスクが後退したことなどから、株式組入比率を徐々に引き上げ24日以降は99%程度を維持しました。

### ◎7月のファンド月間リターン

7月末の基準価額は14177円(6月末14040円)、ファンドの月間リターンは0.98%の上昇となりました。当ファンドのリターンにプラス寄与した主な業種は、銀行業や情報通信業などです。当ファンドにベンチマークはありませんが、ご参考としてTOPIXは1.79%の上昇となっており、当ファンドは0.81%のアンダーパフォームとなりました。主な要因として、当ファンドでTOPIX対比アンダーウェイトにしていた食料品(当月末保有比率1.5%)や小売業(同1.4%)の業種別指数が、TOPIXを上回る月間リターン(食料品+8.9%、小売業+6.9%)になったことなどが挙げられます。

当月は中国を始めとする新興国の景気減速懸念から、電気ガスや食料品、小売業など景気に抵抗力があると言われるディフェンシブ銘柄が相対的に好パフォーマンスとなりました。しかし、こうした銘柄の多くは利益や資産価値に比べて株価が相対的に割高な水準であり、当ファンドの投資基準(P1「運用方針」を参照)を満たさないため、上記銘柄群への投資を見送りました。今後も5~10年の中期的な視点で変化を捉え、「変化し始めた企業」、「変化にチャレンジする企業」を中心に株価が割安と判断した企業に投資し、株価下落リスクに対しては現金等の比率をダイナミックに変化させることで、収益の最大化を目指します。

## II メディア掲載

日付	掲載メディア	ニュース
7月3日	日経電子版	「株、銀行株が映す変化の兆し 外患もくすぶる買いのマグマ」で糸島がコメントしました
7月6日	日経新聞	<a href="#">「就職先選び」「財務」を見よう」でコモンズ投信が紹介されました</a>
7月9日	日経電子版	「株、上海株安が飛び火 換金売りで下げ拡大、売買代金膨らむ」で糸島がコメントしました
7月12日	日経電子版	<a href="#">マネーブログカリスマの直言に「ギリシャ危機、思考停止の日本でいいのか」と題し渋澤が寄稿しました</a>
7月13日	日経電子版	<a href="#">「中国株バブル破裂 曇る株高シナリオ」で伊井がコメントしました</a>
7月13日	日経DUAL	<a href="#">渋澤健 チェンジメーカー7つの感情 最終回「仕事の喜びを知ってしまった女達の「欲」」が掲載されました</a>
7月22日	BSジャパン	<a href="#">「モーニングプラス」に糸島が出演しました</a>
7月25日	日経電子版	<a href="#">「いまもあせない本多流運用法 専門家はこうみる」で渋澤がコメントしました</a>

## II セミナー案内

セミナー名	日付	時間	場所
【女性限定】 はじめてのコモンズ	9月9日(水)	14:00~16:00	東京都千代田区(コモンズ・オフィス)
30才からの“はじめてのコモンズ” (お子様連れ可)	8月25日(火)	10:30~12:00	東京都千代田区(コモンズ・オフィス)
	9月15日(火)		
30才からの“はじめてのコモンズ”	8月11日(火)	19:00~21:00	東京都千代田区(コモンズ・オフィス)
	9月17日(木)		
60才からの“はじめてのコモンズ”	8月21日(金)	13:30~15:00	東京都千代田区(コモンズ・オフィス)
	9月25日(金)		
パパとママのためのこどもトラストセミナー (お子様連れ可)	8月11日(火)	10:30~12:00	東京都千代田区(コモンズ・オフィス)
	9月11日(金)		
「コモンズ 30 ファンド」「ザ・2020 ビジョン」 ファンド説明会	8月15日(土)	14:00~16:00	東京都千代田区(コモンズ・オフィス)
	8月24日(月)	19:00~21:00	
	9月12日(土)	14:00~16:00	
コモンズまなび塾 「はじめて学ぶ 投資信託」 DAY1~3	DAY1 8月13日(木)	14:00~16:00	東京都千代田区(コモンズ・オフィス)
	DAY2 8月20日(木)		
	DAY3 8月27日(木)		
くつろぎ BAR	8月19日(水)	18:00~20:00	東京都千代田区(コモンズ・オフィス)
	9月16日(水)		
こどもトラストセミナー夏休みスペシャル企画! 『かきくけコモンズ』+ ナショナル田園ツアー	8月16日(日)	10:00~13:00	東京都世田谷区 (ウイズダムアカデミー田園調布自由が丘校)
コモンズ 30 塾『女性の活躍』セミナー ダイキン工業	9月11日(金)	19:00~21:00	東京都新宿区(神楽サロン)
第7回社会起業家フォーラム	10月3日(土)	14:00~17:00	東京都文京区(文京学院大学)

※セミナーの詳細、お申し込みは弊社ウェブサイトまたはコールセンターにお願いいたします。

<http://www.common30.jp/seminar/> 03-3221-8730 (コールセンター、平日午前9時~午後5時受付)

## ザ・2020ビジョンの費用について

購入時手数料	販売会社が、別途定める購入申込手数料を申し受ける場合があります。
換金手数料	ありません。
運用管理費 (信託報酬)	ファンドの純資産総額に年1.242%(消費税込)を上限とした率を乗じて得た額とします。なお、基準価額は、信託報酬控除後のものです。信託報酬は、純資産総額の一定の増加により逡減する仕組みになっています。
信託財産留保額	ありません。
その他の費用 ・ 手数料	当ファンドに組み入れる有価証券等を売買する際の売買委託手数料およびこれにかかる消費税等相当額などの実費が投資信託財産より控除されます。また、目論見書・運用報告書等作成費用、監査費用、信託事務に要する諸費用等として、純資産総額の0.108%(消費税込)を上限として投資信託財産より控除されます。

※上記の手数料(費用)等の合計額については、保有期間に応じて異なりますので、上限額等を事前に示すことができません。

## ザ・2020ビジョンのリスクについて

当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資するため、その基準価額は変動します。したがって、お客さま(受益者)の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割込むことがあります。委託会社の運用により生じるこうした基準価額の変動による損益は、すべてお客さま(受益者)に帰属します。なお、投資信託は預貯金と異なります。

※リスクの要因は、上記に限定されるものではありません。詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

## お申込みメモ

信託設定日	平成2013年12月27日
信託期間	無期限(ただし、ファンドの残存口数が10億口を下回った場合等には信託期間の途中で信託を終了させることがあります。)
決算日	原則として毎年12月18日(休業日のときは、翌営業日を決算日とします。)
収益分配	毎決算時に、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないことがあります。当ファンドは分配金再投資専用です。よって、分配金は税金が差引かれた後、自動的に再投資されます。なお、収益の分配に充てなかった利益については、運用の基本方針に基づいて運用を行います。
購入単位	販売会社によって異なります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
購入価格	購入申込受付日の基準価額
換金単位	販売会社によって異なります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
換金価額	換金申込受付日の基準価額とします。
換金代金の 支払い開始日	換金申込受付日から起算して5営業日目にお支払いします。
申込締切時間	購入・換金ともに原則毎営業日の午後3時までです。 午後3時を過ぎてのお申込みは、翌営業日のお申込みとして取扱います。

お問い合わせ先	■ コールセンター (受付時間/平日 午前9時~午後5時)	■ ウェブサイト
	<b>03-3221-8730</b>	<a href="http://www.common30.jp/">http://www.common30.jp/</a>
<p>◆本資料は、コモンズ投信が投資家の皆さまに情報提供を行なう目的で作成したものであり、投資勧誘を目的に作成されたものではありません。◆このレポートは、信頼性が高いと判断された情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通し等は作成日時点のものであり、将来の株価等の動きやファンドの将来の運用成果を保証するものではありません。また、将来予告なしに変更される場合もあります。</p> <p>◆投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認のうえ、ご自身の判断でお申し込みください。</p>		<p>金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第2061号 加入協会 一般社団法人投資信託協会</p> <p><b>コモンズ投信株式会社</b> 〒102-0093 東京都千代田区平河町2-4-5 平河町Kビル5階</p>